

Anti human COUP-TF I mouse monoclonal antibody

COUP-TF I: Chicken ovalbumin upstream promoter-transcription factor I

製品コード PP-H8124-00

Clone No. H8124

Lot. A-1

濃度 1mg/mL

容量 100 μ L

Ig class G2a

Nomenclature NR2F1

Genbank X12795

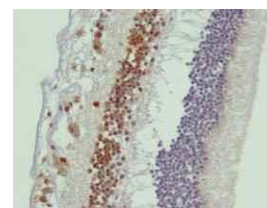
由来 ヒトCOUP-TF I (6-81 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。

特異性 ヒトCOUP-TF Iと特異的に反応する。ヒトCOUP-TF II, EAR2 には反応しない。マウスおよびラット COUP-TF I と交差反応する。

精製法 硫酸塩析法**溶媒** 生理的食塩水
防腐剤として0.1% NaN3添加

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。**Western Blot** 可
参考使用濃度 適宜調製してください**非還元 Western Blot** 可
参考使用濃度 適宜調製してください**ELISA** 可
参考使用濃度 適宜調製してください**免疫沈降** 未検討
参考使用濃度 -**Supershift Assay** 未検討
参考使用濃度 -**クロマチン免疫沈降** 未検討
参考使用濃度 -**免疫染色** 可
参考使用濃度 10 μ g/mL

ヒト
網膜/内顆粒層, 神経細胞層
パラフィン切片

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8 $^{\circ}$ Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20 $^{\circ}$ C 以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献

備考 溶媒に含まれるNaN3は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。